

## セッション1 6月18日(口頭発表 9:30~10:45 ポスター発表 10:45~11:35)

- S1-01 通水式カラム評価機を用いた鉄粉によるアルカリ性ヒ素溶液の吸着・破過挙動  
○飯島勝之・吉川英一郎・古田智之(神戸製鋼所)
- S1-02 詳細調査における一考察  
○上田剛・當田紀賢(パナソニック環境エンジニアリング)
- S1-03 大阪周辺の海面埋立地等の履歴について  
○稲葉 徹・平田健正・福永 勲・吉川克彦・飯田哲也・吉田宗久(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S1-04 重金属吸着能を持つ地盤注入用スラリー(酸化鉄系)の開発  
○土光政伸・平井恭正(石原産業)
- S1-05 家庭園芸用肥料中のカドミウムに対する合成水酸アパタイトの溶出抑制効果  
○安池慎治(電力中央研究所)・藤吉直明(栗田工業)
- S1-06 不溶化処理土壌の長期安定性試験結果  
○鈴木義彦(栗田工業)・橋本正憲(ランドソリューション)
- S1-07 原位置微生物機能を利用した有害金属の固定化方法の検討  
○田邊 康太(竹中土木)・奥田 信康(竹中工務店)・島 俊郎(富山県立大学)
- S1-08 Pb 不溶化における溶出抑制量と粘土鉱物含有量との関係解明  
○清水創(岐阜大学大学院)・加藤雅彦・佐藤健(岐阜大学)
- S1-09 乾式磁力選別を用いた重金属含有土壌の中規模処理試験結果について  
○野崎順兵・友口勝・日野成雄・鎌田雅美(DOWA エコシステム)・吉俊輔(エコシステム花岡)
- S1-10 自然由来砒素含有土を対象とした砒素溶出特性に関する基礎的検討  
○海野円・根岸昌範・高畑陽(大成建設)
- S1-11 災害廃棄物から再生された復興資材の有効活用に資するための地盤工学会からの提言とガイドラインについて  
○肴倉宏史・勝見武・野口真一・中村吉男(地盤工学会)
- S1-12 大型土槽試験と数値計算による吸着層性能評価  
○保高徹生(産業技術総合研究所)・井出一貴・三浦俊彦・西田憲司・鈴木和明(大林組)
- S1-13 ダイレクトセンシング技術を用いた原位置浄化工事設計の事例  
○小川えみ・草場周作(アイ・エス・ソリューション)
- S1-14 原位置浄化による要措置区域指定解除のプロセス  
○市川浩一・山本敏仁(ビーエフマネジメント)・草場周作(アイ・エス・ソリューション)
- S1-15 揮発性有機化合物(VOCs)および塩化ビニル・1,4-ジオキサンに対する化学的分解法の適用性に関する研究  
○秦 浩司(安藤・間)
- S1-16 高圧噴射置換工法による土壌汚染浄化の施工事例  
○日野良太・西田憲司・日笠山徹巳(大林組)
- S1-17 高圧噴射攪拌工法の原位置バイオレメディエーションへの適用事例(その2)  
○塩尻大輔・北詰昌義(フジタ)・佐久間孝夫・熊沢章(東興ジオテック)・和知剛・小松大祐(アイ・エス・ソリューション)
- S1-18 シバを用いた油汚染土壌のファイトレメディエーション2  
○家田裕・山内浩司(JX日鉱日石エネルギー)日下部友昭・大志万浩一・石尾将吾・原真司(住友林業)

- S1-19 微生物浄化法において土質改良工程が土着微生物にあたえる影響(豊洲新市場土壌汚染対策工事における検討)  
○田崎雅晴・小島啓輔・高柳宏・田中仁志・川端江里・尾崎慎一(清水建設)
- S1-20 粘性土のTPH 測定方法に関する検討  
○西川直仁・大島義徳・石川洋二(大林組)
- S1-21 地表面蒸発促進による土壌中セシウム層濃縮に関する基礎実験(Ⅱ)  
○山田百合子・伊藤洋・上利明日香(北九州市立大学)
- S1-22 銚田川の窒素濃度が上昇した機構に関する考察  
○大内孝雄(茨城県霞ヶ浦環境科学センター)・北村立実(現 茨城県環境対策課)・中村憲治(茨城県農業総合センター)・江口定夫(農業環境技術研究所)・吉尾卓宏(茨城県霞ヶ浦環境科学センター)・黒田久雄(茨城大学)
- S1-23 廃棄物が混入した建設発生土の高分子改質剤を適用した連続分別処理  
○近藤 秀樹・片岡 寛・保岡 寛(鴻池組)
- S1-24 サステイナブル・レメディエーション(SR)の取り組みと米国での事例紹介  
○高畑陽・佐藤徹朗・大村啓介・日野成雄・サステイナブル・アプローチ部会(土壌環境センター)

## セッション2 6月18日(口頭発表 13:10~14:30 ポスター発表 14:30~15:20)

- S2-01 東京大空襲による土壌への鉛付加可能性の検討  
○高階義大(洛菱テクニカ)
- S2-02 鉄・アルミニウム水酸化物被覆活性炭に関するヒ素除去性能評価  
○杉田創・張銘・小熊輝美・原淳子(産業技術総合研究所)・高橋伸也(新エネルギー開発)
- S2-03 透過性浄化壁によるふっ素汚染地下水の浄化  
○萩野芳章(不動テトラ)・清水義喜・松岡隆晴(ダイキン工業)
- S2-04 Sustainable Cultivation Method for Phytoremediation of Heavy Metal-Polluted water by Acuatic Macrophyte *Eleocharis acicularis*  
○Nurfutri Abdul Gafur・Masayuki Sakakibara (Ehime University)
- S2-05 酸素と希硫酸を用いた自然由来重金属汚染土の不溶化技術  
○佐藤毅・伊藤圭二郎・川端淳一(鹿島建設)
- S2-06 重金属吸着マットを用いた自然由来重金属の処理検討  
○石神大輔・渡辺哲哉(JFEミネラル)・五十嵐敏文(北海道大学)・田村拓四郎・森山和洋(アイコス)・田作淳(北陽)
- S2-07 自然由来重金属等含有土壌への固化不溶化処理検討における一考察  
○藤井治彦・福武健一・三浦俊彦・日野良太・日笠山徹巳(大林組)
- S2-08 主成分分析を用いた重金属類の含有量から見た土壌多様性の考察  
○中村謙吾・桑谷立・駒井武(東北大学)

- S2-09 土壌汚染対策法の前処理における乾燥方法の検討  
○赤井孝造・辻本 学・樋口一郎・門口敬子(関西環境管理技術センター)
- S2-10 地盤環境を模擬した充填カラムによる鉛の溶出挙動評価  
○篠原隆明・塩谷 剛(栗田工業)
- S2-11 B市の地下水汚染(2)  
○渡辺 正子(環境技術士・環境計量士)
- S2-12 給油所における調査・対策事例の紹介  
○奥村正孝・河村洋一・保賀康史・田村和弘(鴻池組)
- S2-13 ベンゼン汚染地下水へのマイクロバブルオゾン処理工法の適用事例  
○大橋貴志・片岡昌裕・渡辺徹・尾本志展(NIPPO)
- S2-14 廃棄物由来の酒石酸を用いた過硫酸法によるVOC分解技術の開発  
○大里直己(岩手大学大学院)・晴山渉・中澤廣(岩手大学)
- S2-15 実現場における原位置バイオ浄化栄養剤の効果持続性確認  
○宮崎隆洋・西田憲司・緒方浩基・日笠山徹巳(大林組)
- S2-16 A Framework for Cost Efficient Remediation Using Innovative Tools & Technologies  
○Richard L・Raymond・JR(Terra Systems)・Toru Chino(Pacific Rim Services)
- S2-17 室内大型土槽を用いた油汚染地盤の非掘削浄化に関する研究  
○棚橋秀行(大同大学)
- S2-18 原位置油分浄化サイトにおける油分解微生物量の平面分布の変化  
○打木弘一・田村和嗣・西島正範・原 学・山縣憲一郎・重松欣二(基礎地盤コンサルタンツ)
- S2-19 油汚染サイトにおけるリスク評価モデル(SERAM)評価事例  
○白川 武・山本義男・田中宏幸・奥田信康・中島 誠・サステイナブル・アプローチ部会(土壌環境センター)
- S2-20 ログウォッシャーによる粗粒子分からの軽質物の効率的な分離  
○毛利光男・馬場直紀・土田充・保坂幸一・佐藤大樹・中嶋卓磨(清水建設)
- S2-21 多機能盛土による土壌中セシウム移行抑制に関する実証実験Ⅱ  
○大石徹(日鉄住金環境)・伊藤洋(北九州市立大学)・宮崎照美(日鉄住金環境)・安藤彰宣(旭化成ジオテック)
- S2-22 災害廃棄物由来の再生土砂を用いた盛土実証試験  
○中村吉男(アイコ)・野口真一(泥土リサイクル協会)・肴倉宏史(国立環境研究所)・勝見武(京都大学)
- S2-23 クロロエテン類脱塩素化における種間水素伝達系の特性解析と活性化  
○岸本 亮太・鈴木 健司・田代 陽介・二又 裕之(静岡大学大学院)
- S2-24 富栄養化閉鎖性汽水湖における窒素循環に関与する微生物生態系の解析と評価  
○杉山和哉・工藤勇人・倉橋正典・杉浦佳樹・田代陽介・二又裕之(静岡大学大学院)

### セッション3 6月18日(口頭発表 15:20~16:40 ポスター発表 16:40~17:30)

- S3-01 温度変化が地球化学的特性の異なる堆積物中微量元素の存在形態に及ぼす影響  
○斎藤健志・植木崇(埼玉大学・JST-CREST)・濱本昌一郎(東京大学・JST-CREST)・川本健・小松登志子(埼玉大学・JST-CREST)
- S3-02 自然由来重金属類の長期溶出特性評価  
○張 銘・吉川美穂・杉田 創・井本由香利・原 淳子(産業技術総合研究所)
- S3-03 不溶化剤のヒ素吸着及び脱着試験  
○呉 懿奇・榊原 努・梅田 敦(メイホーエンジニアリング)・加藤雅彦(岐阜大学(現 明治大学))
- S3-04 泥水式シールド一体型の自然由来砒素汚染土壌の浄化技術の実証  
○設楽和彦・毛利光男・石鍋誠一・江口崇・山本千絵・田中仁志(清水建設)
- S3-05 小型磁気分離装置を用いた自然由来砒素含有土からの鉄粉による砒素回収技術検討  
○太田綾子・海野円・根岸昌範・高畑陽(大成建設)
- S3-06 水銀汚染土壌の掘削作業時の水銀蒸気モニタリング事例  
○舟川将史・藤崎幸市郎(竹中工務店)・松川健治(竹中土木)・奥田信康(竹中工務店)
- S3-07 アパタイトと含鉄資材の併用による重金属と半金属の同時不溶化 一価数変化と再溶出量の評価による半金属吸着態の安定性-  
○小川翔平(岐阜大学大学院)・加藤雅彦(岐阜大学)・沼子千弥・北原圭祐・宮寄世里加(千葉大学大学院)・佐藤健(岐阜大学)
- S3-08 不溶化処理した汚染土壌からの重金属類の長期溶出特性に係る検討  
○東野和雄・染矢雅之・高橋真子・酒井良枝・下間志正(東京都環境公社)
- S3-09 スペシエーションによる微量セレンの形態分析手法の検討  
○中條邦英・堀雅明・大野敦史(応用地質)
- S3-10 黄鉄鉱含有土砂の酸性水発生リスク判定事例  
○熱田真一・孫 躍(アサノ大成基礎エンジニアリング)・太田岳洋(鉄道総合技術研究所)
- S3-11 ISO/TC 190/SC 2(サンプリング)における ISO 18400 シリーズの審議状況と土壌ガスサンプリング規格草案における日本としての課題  
○中島 誠(土壌環境センター)・保高徹生(産業技術総合研究所)・平田 桂・角田真之・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S3-12 長期間嫌気馴養地下水の VOC挙動と菌相解析  
○澤渡祥・須藤達也・渡辺哲哉(JFEミネラル)・須藤孝一・井上千弘(東北大学)
- S3-13 原位置化学酸化(フェントン反応)とバイオレメディエーションの複合法とその施工事例その2(ホットスポットにおける施工)  
○小松大祐・小川えみ(アイ・エス・ソリューション)
- S3-14 リサイクル材(洗浄石炭灰)を活用した変形追随性のある土質系遮水壁  
○阿部和久・黒岩正夫・高橋真一・塩田耕三(大林組)・熊谷祐一(相馬環境サービス)
- S3-15 地下水浄化におけるレンタル曝気装置の応用検討  
○大坪紀友・桐山忠紀・羽瀧博臣(エンバイロ・ソリューション)・大悟法弘充・西川浩一・高井浩一(住化分析センター)
- S3-16 潤滑油汚染地下水に対する界面活性剤等を利用した揚水回収及び ENA の適用事例  
○松原梨沙・田中宏幸・松久裕之(鴻池組)
- S3-17 バイオレメディエーションにおける油汚染土壌の実大混練実験  
○村上順也・門倉伸行・佐々木静郎(熊谷組)・高柳宏(南洋土建)・川口博史(テクノス)・久保幹(立命館大学)

- S3-18 除去土壌の再生利用とその効果に関する検討  
○中島卓夫・田澤龍三・小竹茂夫・中島広志・宮越靖宏・浄化土壌WG(除染・廃棄物技術協議会)
- S3-19 微細気泡水を用いた洗浄の除染効果について  
○大島 義徳・新村亮(大林組)・上田義勝・徳田陽明(京都大学)・元重浩(Ligarc)
- S3-20 鉄バクテリア法の地下水中亜硫酸除去性能のモニタリング  
○藤川陽子(京都大学)・Paul Lewtas(Edith Cowan 大)・谷外司(東洋濾水機)・高田勝己(向日市)・尾崎博明(大阪産業大)
- S3-21 ペーパーディスク型地下水流向流速計を用いた海岸砂州地下水の挙動の観測  
○小野文也・山本浩一(山口大学)・対馬幸太郎(宮崎県)・大石正行(大起理化学工業)・関根雅彦・神野有生(山口大学)
- S3-22 エレクトロカインエティック法を用いた模擬汚染土壌中のセシウムイオンの挙動  
○明本靖広・宮村良輔・田中俊逸(北海道大学)
- S3-23 過塩素酸汚染地下水への嫌気性バイオレメディエーションの適用  
○榎本幹司(栗田工業)
- S3-24 大気に排出された鉛等の沈着による土壌汚染の可能性の評価  
○グエンティーランビン・小林剛・亀屋隆志(横浜国立大学)・高橋ゆかり(富山国際大学)・劉予宇(東北大学)・藤江幸一(横浜国立大学)

#### セッション4 6月19日(口頭発表 9:00~10:20 ポスター発表 10:20~11:10)

- S4-01 統計的手法を用いた土壌汚染絞込み調査方法の一考察(第3報)  
○前田健太郎・杉山太郎(パナソニック環境エンジニアリング)
- S4-02 中国農用地土壌における有害重金属類の存在形態分析と植物への移行特性の解析  
○石山高・八戸昭一・濱元栄起(埼玉県環境科学国際センター)
- S4-03 バリア井戸による汚染拡大防止および酸化鉄材料による揚水浄化事例  
○平井恭正・畑中恒孝(石原産業)
- S4-04 鉄鋼スラグによるアルカリ性掘削岩・土砂のヒ素溶出抑制と強度改善  
○加藤雅彦・羽田彩友子・沢田和秀(岐阜大学)・高木信浩・赤司有三(新日鐵住金)・佐藤健(岐阜大学)
- S4-05 薬剤浸透による汚染拡散防止技術  
○西田憲司・三浦俊彦・日笠山徹巳(大林組)・平井恭正・土光政伸・森田一太(石原産業)
- S4-06 重金属類汚染土壌の溶出試験検液作成に係る検討  
○染矢雅之・東野和雄・高橋真子・酒井良枝・下間志正(東京都環境公社)
- S4-07 吸着または還元によるセレン汚染土壌の不溶化処理に関する研究  
○板野光純・森裕樹・和田信一郎(九州大学)

- S4-08 中国土壤汚染対策・行政指導と調査浄化の実際  
○ 山内仁(エンバイオ・ホールディングス)・雷鳴・張啓・宋徳君(中国江蘇聖泰実田環境修復)
- S4-09 ハンディタイプ蛍光 X線分析装置の特性と応用  
○ 野田典広・打木弘一・松本一春・重松欣二・中川智博・五十嵐央(基礎地盤コンサルタンツ)
- S4-10 1,4-ジオキサン及び塩化ビニルモノマーによる土壤汚染調査手法の検討  
○ 鈴木義彦・平田桂・松村光夫・鈴木圭一・樋口雄一・未規制物質による土壤汚染調査・対策手法検討部会(土壤環境センター)
- S4-11 ジクロロメタンを含む複合汚染の好氣的微生物分解機構  
○ 吉川美穂・張 銘(産業技術総合研究所)・豊田剛己(東京農工大学大学院)
- S4-12 バイオオーグメンテーション適用現場におけるテトラクロロエチレン汚染地下水の浄化効果  
○ 塩谷剛・小松まゆみ・奥津徳也・上野俊洋(栗田工業)
- S4-13 促進酸化法を用いた汚染地下水の浄化に関する検討  
○ 小山真樹・高木一成(地盤環境エンジニアリング)
- S4-14 VOCs嫌気バイオ処理における微生物栄養剤種の相違による分解特性への影響  
○ 佐藤祐輔・西田憲司・緒方浩基・日笠山徹巳(大林組)
- S4-15 地下水中の塩素化エチレン類の中間代謝産物に対する酸化分解の検討  
○ 山崎祐二・奥田信康(竹中工務店)
- S4-16 電気発熱法における土壤加温シミュレーション(2)  
○ 長曾哲夫・三重野俊彦・福田恭平・湯浅善仁・井上藤男(島津製作所)
- S4-17 トリクロロエチレンの土壤-水相間吸着平衡への温度影響の測定・解析  
○ 青木容(横浜国立大学)・王剣橋(静岡大学)・小林剛(横浜国立大学)・山崎祐二・清水孝昭(竹中工務店)・藤江幸一(横浜国立大学)
- S4-18 原位置浄化工法における小型注入機の開発(その2)  
○ 片岡昌裕・大橋貴志・渡辺徹・尾本志展(NIPPO)
- S4-19 微細気泡を利用した原位置浄化技術の検討(その5)  
○ 細田真美・宮田剛史・藤城春雄(清水建設)
- S4-20 土壤や有機物に吸着した放射性セシウムの溶出特性  
○ 大嶺 聖・杉本知史(長崎大学)・アレクセイ コノブリョフ(福島大学)
- S4-21 多機能盛土における降雨浸透抑制と準好気環境  
○ 安藤 彰宣(旭化成ジオテック)・伊藤 洋(北九州市立大学)・大石 徹(日鉄住金環境)・松尾 俊和(泉商会)
- S4-22 酸化亜鉛含有溶解ダストによる盛土埋設下水汚泥の硫化水素発生抑制  
○ 三宅潤・深谷昌志(ケー・イー・シー)・武下俊宏(福岡大学)・伊藤洋(北九州市立大学)
- S4-23 ギ酸ナトリウムが水中気泡内放電によるフェノールの分解特性に及ぼす影響  
○ 颯田尚哉・岩渕将史・高木浩一(岩手大学)・横田大樹(エヌエス環境)・高橋克幸(シンド静電気)
- S4-24 自社データで見る“汚染原因”の傾向  
○ 小島愛・平田利治・藤井なつみ・杉谷和彦(アースアプレイザル九州)

## セッション5 6月19日(口頭発表 12:45~14:05 ポスター発表 14:05~14:55)

- S5-01 各種土壌に対するPb、Cdの分配係数と共存イオン影響  
○山田 優子(国際航業)・小林剛・亀屋隆志(横浜国立大学大学院)
- S5-02 地下帯水層の長期的温度変化が地下水質に及ぼす影響  
○釘持将人・植木崇・斎藤健志・川本健・小松登志子(埼玉大学・JST-CREST)・濱本昌一郎(東京大学・JST-CREST)
- S5-03 カルシウム／マグネシウム系複合材料へ収着した砒素、鉛、フッ素の存在形態  
○伊藤健一・境健太郎(宮崎大学)・國西健史・板谷裕輝・林慎太郎(住友大阪セメント)
- S5-04 Comparison of CaCO<sub>3</sub> and MgO as stabilizing agent for lead (Pb) contaminated soils  
○Vila LAOKOM・Yuki MORI・Shin-Ichiro WADA(Kyushu University)
- S5-05 土壌・地下水汚染の措置・対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(平成25年度実態調査)  
○加洲教雄・青木 深・竹沢 篤・中島 広志・白川 武・技術実態集計分科会(土壌環境センター)
- S5-06 微生物を利用した水銀汚染土壌の浄化技術  
○根岸敦規(安藤・間)
- S5-07 乾式磁力選別による重金属含有土壌の処理について  
○友口勝・鎌田雅美・日野成雄・野崎順兵(DOWAエコシステム)・吉俊輔(エコシステム花岡)
- S5-08 ISO/TC190におけるカラム試験の国際標準化への日本取り組み  
○保高徹生(産業技術総合研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)・田本修一(土木研究所 寒地土木研究所)・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S5-09 クロロエチレン類の濃度が微生物分解および微生物相へ与える影響  
○内田真理子・山野辺純一(ケミカルグラウト)・吉川美穂・張 銘(産業技術総合研究所)
- S5-10 打撃式ボーリングマシンを用いた原位置浄化剤注入工法  
○黒沢亘・富田宏・武田能拓(日本地下水開発)
- S5-11 ワイン残渣中の酒石酸と鉄イオンを用いた太陽光によるVOC分解処理技術の開発  
○三橋 実季(岩手大学大学院)・晴山 渉・中澤 廣(岩手大学)
- S5-12 VOC汚染サイトにおける電気発熱による原位置浄化対策への影響について(その3)  
○佐藤徹朗・瀬野光太(国際航業)・三重野俊彦・大田昌昭・長曾哲夫(島津製作所)
- S5-13 *Rhodococcus jostii* RHA1株を用いる塩素化エチレン汚染地下水のバイオオーグメンテーション実証試験  
○伊藤雅子・高畑陽(大成建設)・山副敦司(NITE)・野田尚宏(産業技術総合研究所)・野尻秀昭(東京大学)・福田雅夫(長岡技術科学大学)
- S5-14 VOCs原位置浄化の事例  
○福武健一・緒方浩基・西田憲司・日笠山徹巳(大林組)
- S5-15 DHC菌を利用したバイオオーグメンテーション適用サイトにおける微生物叢解析  
○奥津徳也・塩谷剛(栗田工業)・三浦隆匡・山副敦司(製品評価技術基盤機構)

- S5-16 シバを用いた油汚染土壌のファイトレメディエーション3  
○大志万浩一・日下部友昭・石尾将吾・原真司・植田直人(住友林業)・山内浩司(JX日鉱日石エネルギー)
- S5-17 中温加熱法を用いたガス工場跡地の油汚染土壌処理(豊洲新市場土壌汚染対策工事への適用)  
○塙隆之・永野公太・小原智剛・田中仁志・江口崇・尾崎慎一(清水建設)
- S5-18 鉄系吸着材による海水溶液中のセシウム、ストロンチウム吸着特性  
○宮原英隆・平井恭正(石原産業)・本田克久(愛媛大学)
- S5-19 除去土壌の濃度選別システムの実証  
○ドラザリ バスチャン(アレバNCジャパンプロジェクト)・世古雅彦(昭和環境システム)・中原修(千代田テクノル)・赤坂伸吾(アトックス)・押野嘉雄(鹿島建設)
- S5-20 シンチレーターと光ファイバーを用いた小型放射線検知技術  
○伊藤圭二郎・瀬尾昭治・川端淳一(鹿島建設)
- S5-21 放射性セシウム汚染土壌からの消化器系吸収率について  
○高原省五(日本原子力研究開発機構)・池上麻衣子・米田稔・近藤均(京都大学)・石崎梓(日本原子力研究開発機構)・島田洋子(京都大学)
- S5-22 自己組織化マップと主成分分析・クラスター分析による硝酸性窒素汚染地域の水質分類の比較  
○天野弘基・中川 啓・朝倉 宏(長崎大学大学院)・河村 明(首都大学東京)
- S5-23 1,4-ジオキサン汚染水酸化分解処理に及ぼす共存物質の影響評価  
○緒方浩基・大島義徳・西田憲司・佐藤祐輔(大林組)
- S5-24 遮水性覆土層に用いるジオシンセティックレイライナーの不同沈下に対する挙動  
○乾 徹・小川翔太郎・佐藤一貴・高井敦史・勝見 武(京都大学)
- S5-25 最終処分場適地選定のための環境影響評価  
○原 淳子・張 銘・坂本靖英(産業技術総合研究所)

## セッション6 6月19日(口頭発表 14:55~16:10 ポスター発表 16:10~17:00)

- S6-01 自然由来や埋立て等による土壌汚染に関する実務者向け資料の検討  
○吉田宗久・平田健正・福永 勲・吉川克彦・飯田哲也(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S6-02 自然由来でヒ素を溶出するトンネル掘削土砂に対する酸化マグネシウム系材料を用いた不溶化処理に関する検討  
○大山 将(鴻池組)
- S6-03 マツバイマツ浮島による重金属に富む廃止鉱山坑廃水のファイトレメディエーション  
○榑原正幸・大川佳子(愛媛大学)・迫田昌敏(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)・山口 勉(エスペックミック)
- S6-04 セレンおよびほう素に対する各種不溶化資材の性能評価事例  
○根岸昌範・太田綾子・高畑 陽(大成建設)
- S6-05 掘削ずりの不溶化に関する基礎的検討  
○森香奈子・松山祐介・守屋政彦・杉山彰徳(太平洋セメント)・小向雄人・長瀬孝宏(太平洋コンサルタント)
- S6-06 重金属処理土壌の野外暴露試験による溶出特性評価  
○吉村雅仁・森本聡・鎌田雅美(DOWAエコシステム)
- S6-07 水銀汚染土壌対策における水銀蒸気濃度管理方法の検討  
○奥田信康・舟川将史(竹中工務店)

- S6-08 実汚染土壌における鉛の形態と溶出特性  
○高橋ゆかり(富山国際大学)・小林剛(横浜国立大学)・劉予宇(東北大学)
- S6-09 サンプルング方法の違いによる試料への影響  
○佐藤秀之(ランドコンシェルジュ)・Wesley McCall(Geoprobe Systems)
- S6-10 バイオスティミュレーション用薬剤の高濃度クロロエテン類への適用検討  
○虫明晋哉・伊藤浩(東急建設)・小瀧光生・篠田功(ADEKA総合設備)
- S6-11 複合汚染サイトの原位置酸化修復の設計  
○宋徳君・姚佳佳・雷鳴(中国江蘇聖泰実田環境修復)・山内仁(アイ・エス・ソリューション)
- S6-12 土壌洗浄法を用いたガス工場跡地のベンゼン及び油汚染土壌処理(豊洲新市場土壌汚染対策工事への適用)  
○田中仁志・江口崇・埴隆之・石鍋誠一・黒澤典明・尾崎慎一(清水建設)
- S6-13 土壌から放散した揮発性有機化合物の油類や水への移行の測定・解析  
○込堂俊輔・小林剛・上田裕之・亀屋隆志・藤江幸一(横浜国立大学)
- S6-14 オゾンマイクロバブルを用いた油・VOCの浄化技術  
○小河篤史・三吉純男(奥村組)・加納裕士・鶴沼光岳(日本海水)
- S6-15 油汚染土のバイオ処理における添加資材の検証  
○大西健司・石川洋二(大林組)
- S6-16 油汚染調査・対策における油臭判定の定量化の検討について(その4)  
○諸井澄人・岩崎好陽・重岡久美子・石井進(におい・かおり環境協会)・財津吉晴・川合康之(土壌環境センター)
- S6-17 PCB汚染土壌の分析法に関する比較検討  
○張 銘・吉川美穂・原 淳子・川辺能成(産業技術総合研究所)・内田真理子(ケミカルグラウト)
- S6-18 ゼオライト吸着剤による降雨条件下でのセシウム移行抑制について  
○宮崎 照美・大石 徹(日鉄住金環境)・山田 百合子・伊藤 洋(北九州市立大学)
- S6-19 各種吸着材の吸着特性評価  
○宮脇健太郎・山本佳彦・前田悠希(明星大学)・下田宏治・峯村慎一(東洋紡)・西岡国夫(呉羽テック)
- S6-20 衛星測位システムを利用した調査地点設定の省力化―大規模調査における現場適用事例―  
○高橋 徹・三浦光通(環境研究センター)・岡本 修(茨城工業高等専門学校)
- S6-21 高含水土壌中の草木根分離に寄与する選別補助剤の検討  
○大橋 麻衣子・田中 真弓・間宮 尚(鹿島建設)
- S6-22 アルカリ性地盤・地下水の炭酸ガスによる中和技術の開発  
○加藤顕・日笠山徹巳(大林組)
- S6-23 生物学的評価に関する地盤環境のISOについて  
○古川靖英(土壌環境センター)・中森泰三(横浜国立大学大学院)・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S6-24 高濃度1,2-ジクロロエタンを脱塩素化する*Geobacter* sp. AY株の反応速度解析  
○吉田奈央子(名古屋工業大学)・Mohamed Ismael(名古屋大学)・Ummi Afifah Binti Abdullah(名古屋工業大学)・朝日教智(名古屋環境科学研究所)・広瀬倫(豊橋技術科学大学)・片山新太(名古屋大学)